

令和7年度第3回さいたま市公共事業評価審議会 摘録

- 1 開催日時 令和8年1月26日(月) 9時30分から11時30分まで
- 2 開催場所 西会議棟 第7会議室(オンライン会議)
- 3 出席者 委員 桑田会長 久野委員 黒金委員 中野委員  
小口委員 深堀委員  
さいたま市 建設局 市川理事  
建設局土木部道路計画課 横地課長 外3名  
建設局下水道部下水道計画課 板橋課長 外5名  
事務局(建設局技術管理課) 横田課長 外3名

4 議 事

(1) 議案審議

〔事後評価〕 一般国道122号蓮田岩槻バイパス整備事業

〔事前評価〕 高速道路ICランプの整備(防災・安全)

〔事前評価〕 さいたま市の安全な都市をつくる下水道整備<第4期>(防災・安全)

〔事前評価〕 さいたま市の安全な都市をつくる下水道整備<第4期>(防災・安全)

(重点計画)

〔事前評価〕 指扇周辺地区大規模雨水処理施設整備事業

〔事前評価〕 東岩槻駅南口周辺地区大規模雨水処理施設整備事業

(2) その他

5 傍聴者 なし

6 議事内容

(1) 議案審議

〔事後評価〕 一般国道122号蓮田岩槻バイパス整備事業

	[道路計画課より説明 資料1]
	《質疑応答》
中野委員	・今後、事後評価が再び行われるという認識でよいのか。
道路計画課	・122号の事業については、交差点交通容量の増加や渋滞長の縮減、旅行速度の改善が確認できた事業であり、個別事業としては、今後、事後評価を改めて行うことはない。 なお、長期にわたる事業の場合はデータの収集・蓄積について、計画的か

	つ確実に図る必要があると改めて再認識している。
久野委員	・国道 122 号の当該交差点の渋滞状況や旅行速度というのは、住民生活に直結する要因であり、改善効果がみられたということは、事業が適切に効果を発揮していると言える。
小口委員	・交通渋滞が解消されたということは、CO2 の発生なども削減されていると思われるが、CO2 の発生抑制についてはどのようにお考えか。
道路計画課	・今回の個別事業の評価として、記載はしていないが、市ホームページには、騒音・振動等について表示して公表していきたいと考えている。
深堀委員	・評価指標の中で、一部渋滞長が若干延びていることや、利便性が向上し交通容量が増加しているということは、今後も交通量が増えていくことが予想され、継続したモニタリングが必要と感じた。 また、交通事故の発生についても 122 号は、重要な道路であるので、今後も推移をみていく要素なのではないかと思う。
道路計画課	・委員ご指摘のとおり、継続的な評価は必要と認識しており、道路整備計画のなかで、モニタリングを他路線含め実施する予定であり、頂いたご意見を含め内容を検討していきたい。  (意見等以上)
桑田会長	・市の事業評価(案)に特段の意見はなしでよろしいでしょうか。  (意見なし)  ・本件の審議は以上。

〔事前評価〕 高速道路 IC ランプの整備 (防災・安全)

	[道路計画課より説明 資料 2]  《質疑応答》
--	--------------------------------

<p>深堀委員</p>	<p>・渋滞損失時間に基づく指標2については、463BPの当該箇所は、122号に入るときに、御成街道まで渋滞の影響があることも考えられるため、本指標で事業の効果を確認することは適切であると感じた。</p> <p>指標1の「浦和ICへのアクセス時間が5分以内の面積の伸び率」でアクセス性の向上を図るものについては、要素事業ということで、規模が小さいので評価が難しいと思うが、「5分」という時間を設定した理由はこういったものなのか。</p> <p>また、渋滞の評価ができるのであれば、交通安全という観点でみると、当該箇所は浦和ICに入るのに区間が短いので2回車線変更を行わなければならない状況であったと思う、交通事故の件数を短い区間で指標にするのは難しいと思うが、事業のなかで交通安全についてもみていくことに工夫ができたらと感じた。</p>
<p>道路計画課</p>	<p>・5分圏域の拡大という指標設定理由については、5分圏域が短縮すれば10分、30分、1時間…といった圏域についても短縮されるという前提があり、計算手法としてエリアを想定しやすいため、5分圏域を採用させていただいた。</p> <p>交通安全の観点については、歩行者等が少ない路線ではあるが、整備によって交通安全についても寄与することが考えられるため、別途の整備計画のモニタリングを実施し検証していきたい。浦和ICに入るのに区間が短いため2回車線変更を行うという状況については、整備により改善が見込まれるので、また別途検証していきたいと考えている。</p>
<p>小口委員</p>	<p>・463BPから岩槻方面に行く際に、分岐（当該IC）を通り過ぎるとなかなか戻って来ることができない。通過してしまった人が戻りやすくなるようにはならないか。</p>
<p>道路計画課</p>	<p>・当該箇所（鶴巻ランプ）は463BPと東北自動車道、122号上下線が交わり、複雑なジャンクションになっていることは把握している。構造上、通り過ぎてしまった交通を戻すことは難しいため、案内標識を工夫して適切に誘導できるよう検討してまいりたい。</p>
<p>久野委員</p>	<p>・今回の事業（鶴巻ランプの整備）を採択した理由について教えていただきたい。</p>
<p>道路計画課</p>	<p>・現在は、道路整備計画に基づいて今後、5年10年に着手する路線を定めており、30事業ほど実施している。今回の事業（鶴巻ランプの整備）</p>

桑田会長	<p>は、ランプに関連する 122 号、東北自動車道、463BP を緊急輸送道路として接続すべき路線と位置付けており、今回、交付金を頂いて工事をするために、新規に事業を計画した。その他の事業についても交付金を頂きながら別途整備計画に基づき、整備を進めているところである。</p> <p>(意見等以上)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の事業評価(案)に特段の意見はなしでよろしいでしょうか。</li> </ul> <p>(意見なし)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本件の審議は以上。</li> </ul>
------	--

[事前評価] さいたま市の安全な都市をつくる下水道整備<第4期>(防災・安全)

[事前評価] さいたま市の安全な都市をつくる下水道整備<第4期>(防災・安全)  
(重点計画)

	<p>[下水道計画課より説明 資料3、資料4]</p> <p>《質疑応答》</p> <p>深堀委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管渠の耐震化について、非重点事業、重点事業で延長を指標としているが、耐震化する位置付けは決まった上での延長なのか、それとも耐震化する延長数としての目標のどちらか。</li> </ul> <p>下水道計画課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・位置付けは決まっている。</li> </ul> <p>深堀委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・位置付けが決まっているのであれば、資料の中に情報があっても良かったと思う。改築更新について1,400kmの整備とあるが、更新の優先順位等は考えているのか。</li> </ul> <p>下水道計画課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エリアを設定した根拠としては、布設年度、管径、土被りといった情報から、リスク評価し、対象の1,400kmを選定している。</li> </ul> <p>深堀委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・更新対象が1,400kmあって、その中優先順位については、現地の状況等を考慮しながら進めていくという認識であると理解した。</li> </ul>
--	--

小口委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沼影地区が対象となっていないが、布設年度がそんなに古くないからという認識でよいか。あの辺りは軟弱地盤でもあるので、対象となっていない理由等があるのであれば知りたい。</li> </ul> <p>また、改築更新とは具体的にどのような対策を実施するのか。例えば、下水道管の腐食というのは硫化水素が生じてコンクリートが腐食することとなるが、どのような材料で改築更新を図っていくのか。</p>
下水道計画課	<p>布設年度と管の口径から優先順位を定めており、京浜東北線沿線、特に大宮駅や浦和駅周辺が比較的古くに下水道の整備が行われ、対象エリアの多くを占めている。沼影地区でも口径の大きな管渠は対象に入っている。</p> <p>具体的な対策については、硫化水素の発生のしやすさというよりも、管渠を点検した際にクラック等が生じていれば、国が示す改築の指標と照らし合わせ、対策を実施するべきとの判定となれば、主な方法として、道路を掘削せずに下水道管を更生（既設管渠の中に新しい管を形成するイメージ）する管渠更生工事を実施している。また、管渠にたるみが生じ流下能力に支障がある場合は、道路を掘削し布設替えを実施する。</p> <p>（意見等以上）</p>
桑田会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の事業評価（案）に特段の意見はなしでよろしいでしょうか。</li> </ul> <p>（意見なし）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本件の審議は以上。</li> </ul>

〔事前評価〕 指扇周辺地区大規模雨水処理施設整備事業

久野委員	<p>[下水道計画課より説明 資料5]</p> <p>《質疑応答》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道の上位計画に基づき行う事業と理解した。特に具体的な浸水被害の状況や要望を踏まえての施策であるので、是非とも実施していただきたい。</li> </ul>
------	--

深堀委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価をするときのデータをお示しいただいているが、実際に事業の評価として、費用対効果、浸水シミュレーションでの浸水深毎の改善効果をパーセンテージで表すなど説明をされてはいるが、実際に事前評価の指標として目標の設定はしないのか。</li> </ul>
下水道計画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画降雨 55.5 mm/h と市の方としては、この 55.5 mm/h の雨を降らせた時にどの程度軽減できるのか、まずは整備を実施した場合、55.5 mm/h の降雨に対して、どの程度被害が軽減できるかという数値になっている。</li> </ul>
深堀委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施した後で、効果が発現されているかどうかをみていくことになるのだから、資料に記載がされている、改善効果をパーセンテージ表示したものが目標値となるのかを確認した。また、資料の最初の方でソフト事業や関連する事業の記載があるが、浸水状況の改善等を情報提供するケースもある。事業の評価という視点でハードもソフトもバランスよくみてはどうかと感じた。</li> </ul>
下水道計画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業には含まれていないが、下水道中期経営計画にソフト対策が含まれており、内水ハザードマップの公表や河川の水位情報の提供等を実施している。</li> </ul>
深堀委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備を実施しても、浸水被害が一部残ることもあるので、自助の啓発も必要と感じた。</li> </ul>
桑田会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2 ページ目に事業効果の欄に 25,600m<sup>3</sup> 軽減されるとあるが、そこにパーセンテージ表記も入れ、事後評価の際に確認できるようにしてはどうか。また、ソフト面についての対策を引き続き進めていくということを地域の状況等の欄に記載してはどうか。</li> </ul>
下水道計画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調書の記載内容については追記可能か検討させていただきたい。</li> </ul>
小口委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・このエリアは下水道の整備がされていないという理解でよいのか。</li> </ul>
下水道計画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・55.5 mm/h の降雨に対しては、一部の幹線を除き整備ができていないエリアである。</li> </ul>

	(意見等以上)
桑田会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調書については、記載内容にパーセンテージ表記やソフト対策について追記可能か検討いただくこととするが、市の事業評価（案）に対しては特段の意見はなしでよろしいでしょうか。</li> </ul> <p>(意見なし)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本件の審議は以上。</li> </ul>

〔事前評価〕 東岩槻駅南口周辺地区大規模雨水処理施設整備事業

	[下水道計画課より説明 資料6]
	《質疑応答》
桑田会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンホールポンプとはどういったものか。</li> </ul>
下水道計画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路下に整備した貯留施設から、貯めた雨水を排水するための設備で、マンホールの中にポンプ設備が備えられているものである。</li> </ul>
桑田会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンプ場とまではいかないが、ポンプ設備が必要ということか。</li> </ul>
下水道計画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのとおり。</li> </ul>
小口委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンホールポンプの電源設備はどういったものか。大雨時に稼働するのか。</li> </ul>
下水道計画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ある程度の水位が上昇した際に、ポンプは稼働していく。ポンプに故障が無いように、適切に設置・維持管理していく。</li> </ul>
中野委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先ほど評価完了年度が令和 61 年度と説明されていたが、今後の事前事後の評価のタイミングについて教えてほしい。</li> </ul>
下水道計画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業が完了した令和 12 年に事後評価を実施する予定である。</li> </ul>

<p>桑田会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・便益の計算は令和 61 年度までという期間で算出するが、事業の事後評価としては、事業が終了する令和 11 年までの期間という認識でよいか。</li> </ul>
<p>下水道計画課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのとおり。</li> </ul>
<p>深堀委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象となっているのが雨水幹線の整備となっているが、あわせてソフト対策も考えて、効果を出していくことが、先ほどの議案⑤と同様必要と感じている。整備後の浸水シミュレーション等の事業効果を市民にどこまで情報提供されるのか、浸水の軽減ということで、被害は完全にはなくなりますが、他のハード整備（流下能力向上）等を進めていけば、浸水被害は軽減していくのだから、今回の整備ではここまでの軽減効果となることに加え、ソフト対策公助・自助の取り組みを伝える必要があると思う。他にもハード対策でできるのではないかと感じた。</li> </ul>
<p>下水道計画課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の幹線や放流先等の整備が進めば、浸水被害は軽減していくことになるが、一概にこの幹線でこれだけ軽減されると示すことは難しい。</li> </ul> <p>また、ソフト対策については水位情報システムで公開していくことが想定されるが、今回整備箇所にカメラの設置等となった場合、どのような場所に設置するか等、今後検討が必要と認識している。</p>
<p>深堀委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両地区とも非常に浸水被害について意識が高いのではと想像され、今回大きな幹線が整備されるとなると、期待も大きいと思われる。整備の効果についてもわかりやすく伝えていくことが必要。</li> </ul> <p>(意見等以上)</p>
<p>桑田会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調書については、先ほど同様に記載内容にパーセンテージ表記やソフト対策について追記可能か検討いただくことに加え、下流整備が進めば更なる事業効果が期待できる等の表現についても追記可能かあわせて検討いただくこととするが、市の事業評価（案）に対しては特段の意見はなしでよろしいでしょうか。</li> </ul> <p>(意見なし)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本件の審議は以上。</li> </ul>

(2)-1 その他 全体を通してのご意見

- ・意見等無し

(2)-2 その他（議事録の確認について ※議事の前に確認）

	<p>・今回の審議会の議事録は、桑田会長より指名した深堀委員及び小口委員が事務局で作成する議事録を確認することです承。</p>
--	---